

衝突被害軽減制動制御装置(AEBS)性能試験〔対歩行者：昼間〕の実施における試験条件について

1. 概要

ロードマップに基づき、2016年度からAEBS〔対歩行者〕の試験・評価を実施するために、日本の事故実態に基づく試験方法（シナリオ）・評価方法（配点）を決定したところであるが、一部試験条件において課題となっていた遮蔽車両の選定及び試験ターゲット（ダミー）の挙動について検討を行った。

2. 検討結果

(1) 遮蔽車両の選定について（考慮すべき事項）

① 遮蔽車両 A（前側）の車両選定及び車体色

* 販売台数が多い車両の中から選定し、大人ダミーが概ね隠れる全高を有すること。

* 車体色は日本における販売比率をもとに選定する。

② 遮蔽車両 B（後側）の車両選定

* 後方の遮蔽車両を設定する目的は、横断前のダミーが試験車両から見えてしまうのを防ぐであるためであることから、大型 SUV または 1 BOX 車が望ましい。車体色は①同様販売比率をもとに選定。

【対応】

* ①及び②を考慮し、試験方法の付録に遮蔽車両の寸法要件を追加した。

* 試験使用車両 遮蔽車両 A（前側）：ホンダ・N-BOX 白

遮蔽車両 B（後側）：トヨタ・ハイエースバン 黒

(2) 試験ターゲットの挙動について

① 課題（ダミーの異常判定ポイント）

* 風等の影響で頭部が前傾又は後傾した場合に頭部の移動速度が大きく変化する。

* 脚部の挙動に異常があった場合に通常観測される位置から大きくずれる。

② 対応

* ダミーの挙動に関し、挙動ばらつきの許容範囲を定め試験方法の付録に許容範囲を追加する。

* 試験時にビデオカメラにて映像を取得しデータを必要に応じて試験の成立判定に用いる。